年度	学年	教科	授業数／週
令和8年度	2年	国語	4
教科書			
教育出版「伝え合う言葉中学国語2」・ 教育出版「中学書写」			
補助教材			
明治図書「よくわかる国語の学習2」・ 浜島書店「国語便覧」			

年間指導目標
・知識の定着と活用 ・文章と対話による表現力の育成 ・情報活用能力の育成 （タブレットを用いた情報リテラシー教育・図書館の活用）

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	・定期テスト ・小テスト（漢字・文法・語彙等） ・硬筆・毛筆	知識に関して、各テスト、授業内における小テストによる観点別問題で行う。 技能に関して、聞き取った情報を整理することや書写に関する項目を評価する。 文法の識別・ことわざ、作文の書き方などで評価する。 知識・技能を点数化して合算し、満点の8割程度以上をA評価、3割程度以下をC評価とする。
思考 判断 表現	・課題（作文・レポート・ワークシート・ノート等） ・定期テスト ・話し合い活動 ・スピーチ　　・暗唱	各テストにおける観点別問題で評価する。話し合い活動やスピーチなどにおける表現の仕方などで評価する。 作文やワークシートなどで、論理的に自分の考えを説明できているか、根拠が明確であるか等の項目がある。 満点の8割程度をA評価、3割程度以下をC評価とする。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・課題（テスト・ノート）の取り組み ・授業態度 ・単元ごとの振り返り	主体的に理解するまで学習に取り組む姿勢を評価する。また、単元ごとの振り返りを行い、何を学んだのか・疑問に思ったことは何か等、確認したものを評価する。 どちらも十分にできていればA、どちらかができていればB、どれもできていなければC評価とする。

授業の評価について	
注意事項	読む・書く・話す・聞くという表現を点数化して評価する。声が大きいなどといった単一的な事実での評価は避ける。
アドバイス	漢字の読み書きは地道に取り組んで、知識として定着させることが大事。また、文章を読んで、疑問に思うことから学習が始まる。作者の考えを読み取り、自分なりにまとめることを家庭学習にすると良い。論理的に思考し、どうしてそうなったのかを考えることも重要。自分の考えを様々な手段で表現することが求められます。作文やレポート、ノートや発表など、相手にわかりやすい言葉を選び、丁寧に論を重ねていきましょう。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1学期	4	・虹の足 ・いろいろな立場や考えを踏まえる ・タオル	進級おめでとうテスト 漢字小テスト 授業内評価物
	5	・間違いやすい漢字 ・日本の花火の楽しみ ・水の山　富士山 ・敬語	漢字小テスト 授業内評価物
	6	・手紙・メールを整える ・社会で求められる表現 ・夢を跳ぶ ・話し言葉と書き言葉	期末テスト(知・思・主) 漢字小テスト 授業内評価物
	7	・SNSから自由になるために ・脚本で動きを説明する ・漢字の成り立ち ・読書感想文指導	漢字小テスト 授業内評価物
夏休み	8		
2学期	9	・持続可能な未来を創るために ・「ここにいる」を言う意味 ・紙の建築 ・林間学園　教科横断学習	漢字小テスト 意味調べテスト 中間テスト(知・思・主) 授業内評価物
	10	・構成を明確にして説明文を書く ・活用のある自立語 ・敦盛の最期 ・随筆の味わい	漢字小テスト 授業内評価物
	11	・孔子の言葉 ・坊っちゃん ・短歌の味わい ・夏の葬列	期末テスト(知・思・主) 漢字小テスト 授業内評価物
	12	・映像作品の表現を考える ・漢字の多義性 ・百人一首 ・書き初め	漢字小テスト 授業内評価物
3学期	1	・百人一首 ガイアの知性 ・確かな根拠をもとに意見文を書く ・学ぶ力	漢字小テスト 授業内評価物
	2	・社会生活と言語コミュニケーション ・付属語のいろいろ ・豚 ・類義語・対義語・多義語・同音語	漢字小テスト 授業内評価物 学年末テスト(知・思・主)
	3	・走れメロス ・同音の漢字 ・助詞のはたらき	漢字小テスト 授業内評価物